

フィルタ効率自動検出装置

Model 8150

AFT



特徴

- 大量処理と24時間遠隔操作に最適化されたモデル
 - ・条件や設定次第では4秒以内の試験時間が可能
- 8130Aとほぼ同等の測定結果を実現
 - ・捕集効率99.9999%（透過率0.0001%）まで対応
- 2つのフォトメータで同時に測定することで高い性能を実現
- 設置面積が小さく生産ラインへの組み込みが容易
 - ・フォトメータボックスをベースユニットから分割可能
 - ・2つのユニットを積み重ねることも可能
- PLC(Programmable Logic Controller)による駆動
 - ・内部診断機能を有する
- NIOSH 42 CFR 84、GB2626、EN143/EN149などの規格に対応

概要

モデル8150は大量処理と24時間遠隔操作に最適化された自動型フィルタテスターです。このモデルは非常にコンパクトで、既存の生産ラインに簡単に導入することが可能です。特に狭い場所では、フォトメータボックスをベースユニットから分割したり、2つのユニットを積み重ねたりすることもできます。

8130Aとほぼ同じ技術を用いているため、高精度なデータを得ることができます。PLC駆動のインターフェースで動作し、内部診断機能を備えているため、信頼性の高いフィルタ捕集効率測定を行うことができます。

試験粒子

内蔵のアトマイザーは極めて安定した発生特性を有しています。DOP（ジオクチルフタレート）の他、健康影響を考慮して代替のPAO（ポリアルファオレフィン）、パラフィン等も利用できます。

モデルの種類

	8150	8150N	8150R	8150NR
AFT機能	○	○	○	○
中和器機能		○		○
サンプル液自動補充機能			○	○

原理

アトマイザーから発生した粒子はフィルタを通過し、フィルタの上流/下流それぞれにある、レーザー式粒子検出器（フォトメータ）で、同時に粒子濃度を計測します。

また、フィルタ通気流量、圧力損失も同時に計測されており、自動的にデータに反映されます。計測が完了すると試験結果が記録されます。Figure1赤枠内のフィルタホルダー部、及び真空ポンプは8150には含まれませんので別途用意が必要です。

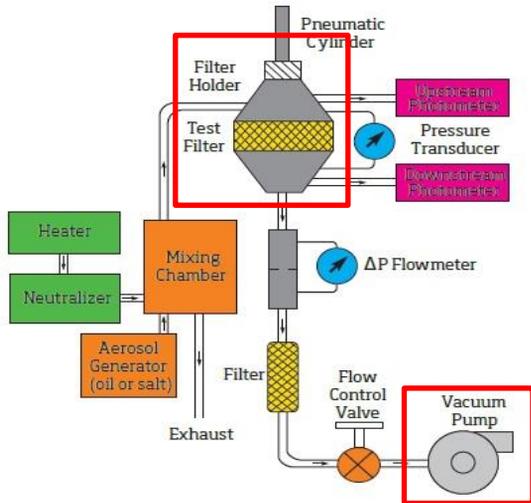
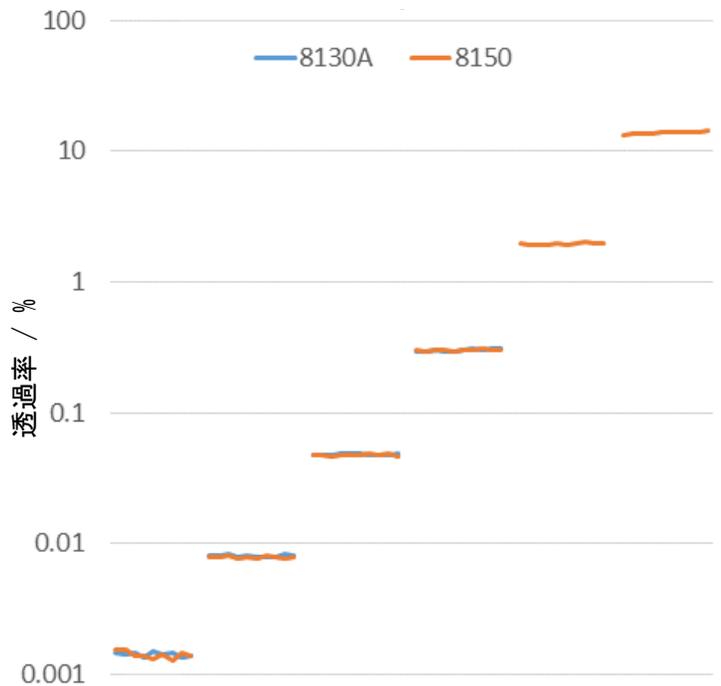


Figure1 内部フロー図

相関性

AFT8130Aとの相関性も取れています。

各透過率で10回ずつ測定した比較結果



付属品について

AFT8150は単独使用が出来ない為、現場での動作確認及びメンテナンス用として、フィルタ試験部や操作パネルを別途ご用意頂く必要があります。

AFT8150の台数分用意する必要はなく、1事業所に1台あれば問題ありません。



フィルタ試験部
8150-P500

仕様

Model 8150

発生粒子*1 : PAO（ポリアルファオレフィン）
DOP（ジオクチルフタレート）
DOS（ジオクチルセバケート）
パラフィン

PAOの例

質量中央径 0.33 μm
個数中央径 0.20 μm
幾何標準偏差 1.6以下
濃度 50~200 mg/m^3

*1 SMPS3936データより

対応濃度 : 0.001~200 mg/m^3
流量範囲 : 10~120 L/min (精度 フルスケール 2%) (外部真空ポンプが必要)
圧力範囲*2 : 0~250 mmH₂O (約0~2.45 kPa) (精度 フルスケール 1%)
効率範囲 : 捕集効率 99.9999 %
透過率 0.0001 %

*2 計測可能な圧力損失範囲

電源 : 90~250 VAC 最大10 A 50~60 Hz
エア源 : 0.6 MPa、250 L/min(標準流量)
寸法(HWD) : 645 × 555 × 1045 mm
重量 : 100 kg

*仕様は予告なしに変更される場合があります。ご了承ください。

東京ダイレック株式会社

TOKYO DYLEC CORP.

東京本社 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1 内藤町ビルディング
TEL 03-3355-3632 FAX 03-3353-6895 (代表)
TEL 03-5367-0891 FAX 03-5367-0892 (営業部)

西日本営業所 〒601-8027 京都市南区東九条中御霊町53-4-4F
TEL 075-672-3266 FAX 075-672-3276